



代表の澤登氏

## 経営概要

- ◆ 代表者、所在地  
澤登浩二、山梨県山梨市
- ◆ 設立年  
令和3年3月
- ◆ 経営規模  
果樹3ha（生食用ブドウ、柿）
- ◆ 従業員数  
役員3名、パート・アルバイト10名
- ◆ 事業内容  
農産物の生産・地域での共同出荷に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

家族で農業を経営をしながら、石材土木や設計の個人経営をしていた。澤登氏は**農業経営を法人化して、各部門の経営の一本化を図り、効率的な経営管理ができるようにしたい**と考えていた。

**法人化に際し、必要となる手続きについて助言を受けたい**と令和3年8月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、社会保険労務士による**労働条件通知に関する助言**を実施。

また、現在の雇用形態上、**加入が必要な保険の制度概要とその手続きについて支援**した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★農林大学校生の研修を受け入れるなど**地域農業の担い手育成**に取り組むとともに、**従業員ごとに農作物の栽培管理を任せることで柔軟な働き方を実現**

### ■ 従業員の確保・育成

**地域とのコミュニケーションを大事にし、定期的**に人づてにアルバイトの方を紹介してもらい、**安定的な人材の確保**に努めている。

**従業員に対しても、県やJA主催の講習会へ積極的に参加させ、栽培技術の向上**を図っている。

### ■ 地域の後継者の確保・育成

県外のボランティア団体による**農作業体験**や**県農林大学校生徒**を研修の一環として受け入れる等の取組により、**将来地域の新たな担い手となり得る人材の確保・育成に注力**している。

また、**地域で共同出荷を行う任意生産者団体のために、自己資金により集荷場を整備**した（右写真）。

これらの取組により、任意生産者団体の数が高齢化により一時期10名程まで減少していたが、これらの取組により現在は25名に増加した。

### ■ 従業員の予定に合わせた業務体制

**従業員一人一人に特定の畑の管理を任せ、その畑での収益を従業員に還元**している。**畑を個別に管理させることにより、責任感を持たせる**とともに、従業員との予定に合わせた働き方が可能となり、**時間の融通が利きやすい業務体制**をとっている。



地域農家が共同で利用する集荷場を整備中の様子

### 今後の意気込み

引き続き、担い手の確保・育成に力を入れる。また、地域施設を利用した農泊やマルシェ等の新たな取組により、地域の発展を目指す。

### 専属スタッフ所感

法人化を契機とした経営力の強化が進んでいるとともに、地域活性化の担い手の中心として大きな役割を果たされており、頼もしい限りです。